

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 I Comprehensive English I		
対象年次 1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) La	科目分類 外国語科目(英語)		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 小笠原真司/Eメールアドレス: ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp/ 研究室:環境科学部1階(旧169番教室) /TEL: 095-819-2094 /オフィスアワー: 月4 金3			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500 文字) <b>授業のねらい:</b> 比較的易しい英語で書かれた物語を速読するとともに、英語で書かれた様々な話題に関する新聞記事を、辞書なしでなんとか大意がとれるように訓練します。さらに、精読をすることにより、より内容を正確に読む練習をします。また、リスニングや音読の訓練も行い、英語の音に対して、自信が持てるようになります。 <b>授業方法:</b> 演習形式で行います。指定されたテキスト①は、決められた範囲を予習してくることが前提です。特に、英文の読解の速読法に力を入れて指導します。テキスト②を利用して、英文のテキストの大意をつかむ練習をし、そのあと、正確に読む練習を行います。指定されたテキストは、家庭で十分予習してくることが必要です。 <b>授業到達目標:</b> 英語の重要な文法の復習を行いながら、英語の基本構文を修得し、簡単な英文の物語を辞書なしで速く読めるレベルまで指導します。また、英字新聞の記事を正確に読む力をつけるようにします。具体的な目標語彙レベルは、2000語から 3000 語レベルの修得を目指します。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) <b>授業内容(概要)</b> 毎回、授業の最初は、テキスト②を用いた音読やリスニング活動から行います。これは、テキストから音読やリスニングの範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら練習し、この活動に参加してください。小テストとしてこの活動を行い、成績の40%は、この活動の小テストにて評価します。 次に、テキスト①を用いて、物語を速読する練習をします。3~5ページくらい進みますから、学生は指示された範囲を必ず予習して授業に参加してください。授業の3回に1回くらいは、テキストの内容に関するリスニング教材も用いて、多様な指導を行います。 授業の後半では、ふたたびテキスト②のリーディング教材を読んでもらいます。このテキストは、毎回担当者が授業時に読むべき教材を指定し、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習を行います。このリーディング教材は家庭学習としてさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。同時に、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。 英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。 第1回 オリエンテーション、 テキスト②リーディング教材1、 第2回 テキスト②リーディング教材1,2 テキスト① 第3回 テキスト②リーディング教材 2,3 テキスト① 第4回 テキスト②リーディング教材 3,4 テキスト①のリスニング教材 第5回 テキスト②リーディング教材 4,5 テキスト① 第6回 テキスト②リーディング教材 5,6 テキスト① 第7回 テキスト②リーディング教材 6,7 テキスト①のリスニング教材 第8回 テキスト②リーディング教材 7,8 テキスト① 第9回 テキスト②リーディング教材 8,9 テキスト① 第10回 テキスト②リーディング教材 9,10 テキスト①のリスニング教材 第11回 テキスト②リーディング教材10,11 テキスト① 第12回 テキスト②リーディング教材11,12 テキスト① 第13回 テキスト②リーディング教材12,13 テキスト①のリスニング教材 第14回 テキスト②リーディング教材13 テキスト①のリスニング教材 第15回 全授業のまとめ(定期試験を含む)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):テキスト① <i>The Phantom of the Opera</i> (Oxford) 700 円 テキスト② <i>Messages to Our Future</i> (Kindsido) 1,900 円 (第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :リスニング教材は、プリントにて毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 50%、毎回の小テスト 40%、授業中のアクティビティ 10%で行います。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			